



一般財団法人 ものづくり基金

平成30年 事業報告書

ものづくり基金 運営カテゴリ 概要

1. ものづくりの 地産地消事業

- 地域内の「ものづくり発注情報」を吸い上げ、ものづくりの地域内受発注へ繋げる

2. 地域内外の マッチング事業

- 外部情報を活用した室蘭地域企業とのマッチング事業と域内産業創出事業

3. ものづくり技術力 の発信事業

- 基金ホームページ・展示会出展等を活用した技術力の発信事業

4. 人材育成等・ 啓蒙事業活動事業

- ものづくりの「未来」へ向けた人材育成等・地域啓発活動事業

カテゴリ毎の事業費執行状況

(単位:円)

事業内容	事業費
【カテゴリ1】 ものづくりの地産地消活動事業（予算額 1,800,000円） ・竹丸渋谷水産(株)様の生産ライン設備改良事業 ・ものづくり挑戦的開発支援補助金 ・ものづくり基金 ロゴマークデザインコンテスト 賞品 ・ものづくり基金 ロゴマーク製作	65,000 500,000 40,000 64,800
小 計	669,800
【カテゴリ3】 ものづくり技術力の発信事業（予算額 450,000円） ・ものづくり技術力発信動画製作補助金 ・(株)永澤機械 様 ・(株)西野製作所 様 ・(株)中井英策商店 様 ・ものづくり技術力発信動画 ホームページ掲載費用	150,000 150,000 100,000 20,520
小 計	420,520
【カテゴリ4】 ものづくりの人材育成等・地域啓発活動（予算額 700,000円） ＊「プログラミング・ロボット組立 体験教室」における工作キット購入費 等	584,096
合 計	1,674,416

カテゴリ1:ものづくりの地産地消事業 ものづくり挑戦的開発支援補助金 スケルトン試作機 開発事業

挑戦事業

鉄の街の技術で挑むスケルトン用国産ソリ開発事業

外部環境(スケルトン業界の現状)

スケルトンでは、国内にソリを製造する専門メーカーが無く、国内選手は海外製品の中古を譲り受け使用している。しかし、中古品は日本人選手の体型に合わず、成績が伸びないという問題を抱えている。特にジュニア選手は、成長に伴って短期間で体型がソリと合わなくなり、スケルトン成績の伸び悩みにつながっている。国内選手の競技力向上には、シニア選手よりもジュニア選手の技術向上が必要であるため、ジュニア用ソリの開発が必要である。

事業の目指す方向性

2022年の北京冬季五輪出場を目指す「網走南ヶ丘高校1年生の選手」が優れた成績を残すことを目標として、鉄の街・ものづくりの街における技術を活かしたジュニア選手用国産ソリの開発を進める。

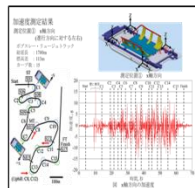
1. スポーツ科学的知見から 「勝つ」競技用ソリの開発

- ①強度、靱性を有した材質の選択
- ②最適形状への加工・溶接
- ③選手の体型(シニア・ジュニア)に合わせた荷重配置やバランス調整



2. 次世代の人材育成

- ①北京冬季五輪へむけた選手の育成強化
- ②スポーツ科学に特化した技術者の育成



カテゴリ1:ものづくりの地産地消事業 ものづくり挑戦的開発支援補助金 スケルトン試作機 開発事業

【開発結果】

平成30年11月

カナダにて試作機の評価および調査を実施

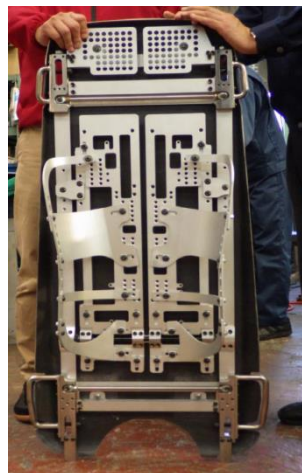
試走後のソリに対して、変形の有無を調査し、直進性を評価

変形が無く、直進性が高く、スピードが出やすいソリの開発に成功

現在、製作した試作機の改良を行い、ボブスレー・スケルトン連盟と連携して、選手からのヒヤリングなどを実施。



試作機の表面と裏面



カテゴリ1:ものづくりの地産地消事業

からくり時計製作事業 デザインアイデアコンテストの実施

室蘭市・ものづくり基金・室蘭信用金庫 共同事業

事業概要

室蘭信用金庫が室蘭市に、100周年の感謝を表し、地域金融機関として100年以降も『これからも共に歩む』というメッセージの発信も含めて、「生涯学習センター」及び「(仮称)環境科学館・図書館」へ「からくり時計」を寄贈。

デザインアイデアの募集

室蘭市内外の市民を対象とした「からくり時計デザイン・アイデアコンテスト」を平成29年7月20日から1か月間実施、40件超の応募がありました。

ものづくり基金運営委員会・室蘭市・室蘭信用金庫で点数審査し右記のアイデアが受賞しました

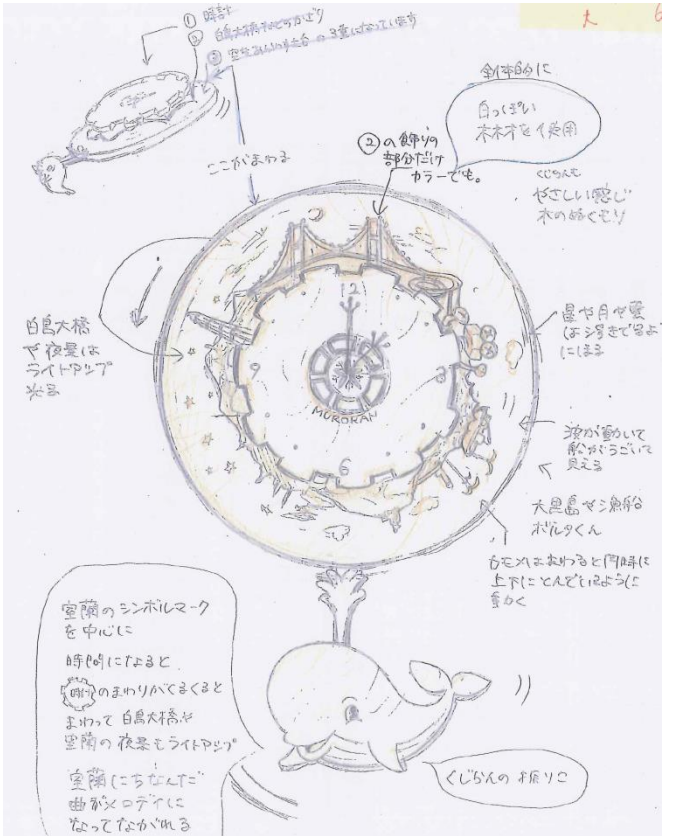
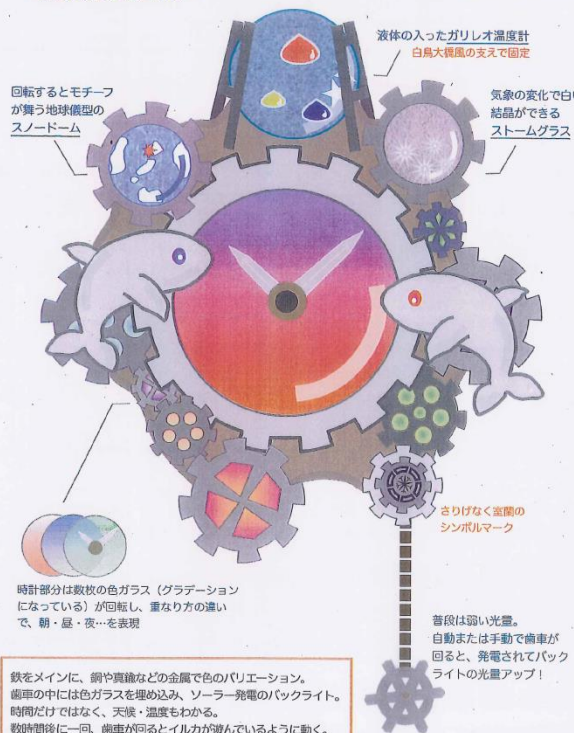
工場の夜景と海

～金属とガラスのコラボ～

アイデア

木

5



からくり時計据付後



受賞したデザイン・アイデアをもとにデザイン実施。
平成31年1月25日 寄付贈呈式を実施し据付終了しました。
(製作会社は、札幌市内の企業(株)ウェザーコック)



カテゴリ1:ものづくりの地産地消事業

ものづくり基金の ロゴマーク製作と募集（審査会実施）

事業内容

「ロゴ:made in muroran MM」の製作

基金で実施する事業や、ホームページなどで使用するロゴを募集(10月)

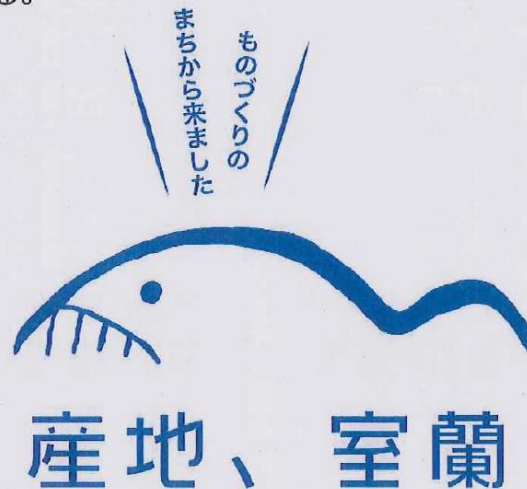
(挑戦的開発補助金で、補助金が製作費用の70/100以上の場合は、ものづくり基金のロゴ「(仮)MM: made in murorann」を表示(刻印)する)

①平成30年10月、ものづくり基金「ロゴマークデザイン コンテスト」を実施

②10件の応募がありました。平成30年11月に理事会で審査し、民間のデザイナーの意見も参考として、下記作品1作品を大賞に選びました。

テーマ

室蘭産を、届ける。



カテゴリ1:ものづくりの地産地消事業 ものづくり基金のロゴ決定

大賞のロゴと審査点数上位5作品をベースにデザイン会社にて
下記ロゴマークを製作



ロゴコンセプト

- ①室蘭の自然と工業都市の融合をテーマとして、くじら(自然)と歯車(工業)をモチーフとする
- ②くじらの「潮」吹き部分は室蘭の頭文字「M」を表現
- ③ものづくり企業が使いやすいようにシンプルなデザイン



カテゴリ3:ものづくり技術力の発信事業 ～技術力発信動画製作補助金～

事業内容

中小企業の技術力(強み)をPRするため、技術力等の動画を製作するものづくり企業に対して、その製作経費の一部を補助することで訴求効果の高いPR用動画製作を支援することにより、外部からの受注に繋げ、ものづくり企業の発展を目的とします

動画製作企画書の提出
技術PR用動画の内容・構成等

一般財団法人
ものづくり基金

補助金

3社の申込みがあり
動画製作中

ものづくり企業

映像製作委託契約

動画製作会社

《補助内容》

補助率:映像作成業者に支払う動画作成委託費(撮影料、編集料等)100分80(千円未満切り捨て)

補助限度額:15万円(多言語での作成を含む場合)

10万円(多言語での作成を含まない場合)

一般財団法人
ものづくり基金

申込締切
1月31日
(水)

ものづくり技術力発信動画
製作補助金事業

技術紹介動画を作成して、自社の強みを発信しませんか?

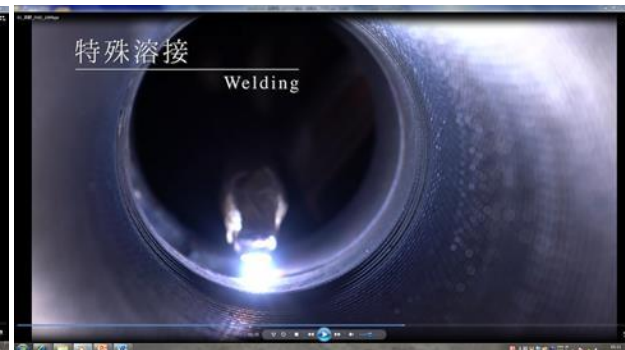
【事業の目的】
中小企業の技術力(強み)をPRするため、技術力等の動画を製作するものづくり事業者に対して、その製作経費の一部を補助することにてPR用動画製作を支援し、外部からの受注へ繋げ、ものづくり企業の発展を図ります。

<募集内容>
○対象事業
技術力等の紹介にて販路開拓を主な目的とし、映像作成業者に委託してPR動画の製作を行う事業
○対象者
原則、北海道胆振管内において『ものづくり』を行う中小事業者等
○補助対象経費
映像作成業者に支払う動画作成委託費(撮影料、編集料等)
○補助率及び補助限度額
補助率:100分の80
補助限度額:15万円(多言語での作成を含む場合)
10万円(多言語での作成を含まない場合)
※製作するPR動画に本数の制限はありませんが、上記の補助限度額が総経費の限度額になります。
※本企画には審査がございます。採択された事業者のみ補助金の給付が受けられます。
※補助対象事業として不適当と認められる場合は、補助金の交付決定の取り消しや補助金の返還を求める場合がございます。

カテゴリ3:ものづくり技術力の発信事業

動画製作事業 株式会社 西野製作所

ものづくり現場(加工技術内容)のプロモーションビデオを制作



カテゴリ3:ものづくり技術力の発信事業

動画製作事業 株式会社 永澤機械

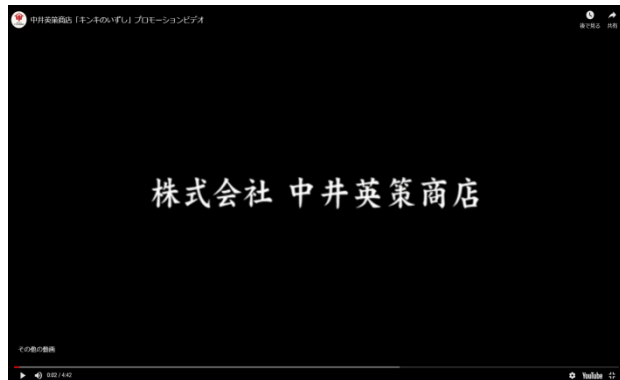
ものづくり現場(加工技術内容)のプロモーションビデオを制作



カテゴリ3:ものづくり技術力の発信事業

動画製作事業 株式会社 中井英策商店

キンキのいずしのプロモーションビデオを制作
⇒キンキのいずしができるまでの工程を紹介する動画

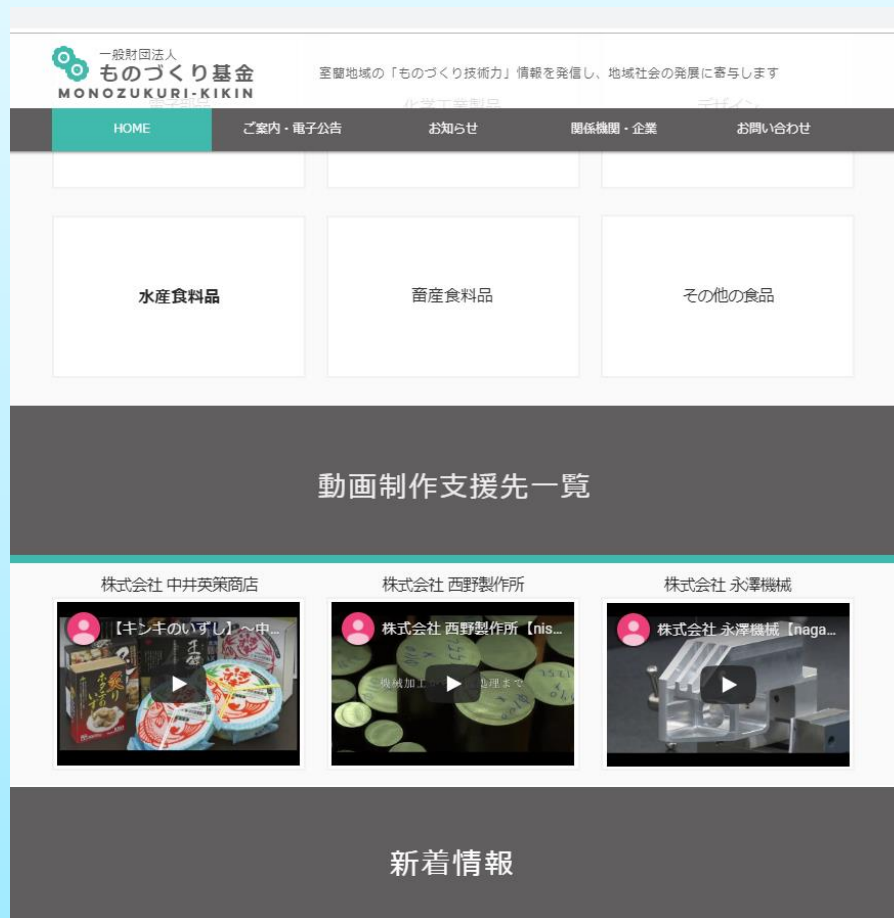


カテゴリ3:ものづくり技術力の発信事業～映像による技術力発信事業～

事業内容

ものづくり基金のサイト「ものづくり技術力発信サイト」に企業の技術力動画を掲載

ものづくり基金ホームページ



カテゴリ4: 人材育成等・啓蒙事業活動事業 子供向け事業 室蘭工業大学様と共催『プログラミング・ロボット組立 体験教室』の開催

事業内容

2020年より小学校にてプログラミング教育がはじまります。プログラミングを体験しながら論理的思考力を身につけるための学習が次世代教育において重要となってきます。楽しみながらロボットの仕組みとプログラミング(4～6年生の部)について体感できる教室を開催

共催: 一般財団法人ものづくり基金・国立大学法人 室蘭工業大学ロボットアリーナ・室蘭信用金庫
後援: 室蘭市・室蘭市教育委員会・公益財団法人 室蘭テクノセンター

120名の申込みがあり、2回に分けて実施しました(12月22日)(12月26日)

